

地域の人々を優しく包む居場所

山形県米沢市 特定非営利活動法人から・ころセンター





東京から新幹線で米沢へ。途中の福島駅で在来線に切り替わる。奥羽山脈で山形県と福島県の境にある板谷峠を越えると、雪化粧をした美しい山々に抱かれていることに気が付く。今回、山形県米沢市で地域の子どもを幅広い取り組みで支えている、特定非営利活動法人から・ころセンター（以下、から・ころセンター）を取材した。

から・ころセンターは、1991年に設立された任意団体「サークルあすなろ」（登校拒否の子どもを持つ親の会を前身とし、2001年に、米沢市内に一軒家を借りあげ、「若者の居場所から・ころセンター」を開設。2006年には、特定非営利活動法人の認証を受け、それ以降、自治体などとも連携し、若者の自立支援事業を実施。2024年には、さくら国際高等学校米沢キャンパス（通信制高校を誘致し、その運営を行っている。現在では、青少年の居場所支援や家族会、就労トレーニング、就労継続支援B型事業所、相談支援事業、地域食堂など、米沢市の若者を様々な形で支える事業がある。

から・ころセンターの代表の伊藤正俊さんは、団体の前身である「サークルあすなろ」が生まれたきっかけについて、ご自身の娘さんが不登校になったことだと話す。当時、不登校の事例がめずらしかったこともあり、親同士が子どもについて話し合える場がなかったことで立ち上げた。その後、子どもにも居場所が必要だと分かったと若者の居場所を作り、「必要なことを必要だけに行っていたら、ここまでできてしまった」と、団体の経緯を話してくれた。長くひきこもりについて取り組んできた伊藤さんは、2016年から2023年までKHJ全国ひきこもり家族会連合会共同代表を務められ、現在は同会の顧問をされている。今回取材をしたのは、2019年から始まり毎月第2・4土曜日に開催している、地域食堂「みんなつながるサロン」。セン





ターのスタッフである及川麻衣子さんは、食堂をはじめきつかけについて、体験の格差の問題があるという。「親が忙しい子どもは、体験の機会が少ない状況にある。この食堂を通じて、季節のイベントや食育などの取り組みを行い、地域の子どもたちに体験の機会を増やしたいと思っている」。普段は地域のボランティアの方々で食事を作っているのだが、この日は、328年の歴史があり、上杉治憲(鷹山)が命名したことでも有名な藩校「興讓館」を受け継ぐ、山形県立米沢興讓館高校の生徒たちが担当した。

朝9時30分になると、ボランティアの高校生が会場にやってきて、手際よく調理をはじめめる。今回、高校生主体で食堂を運営することになったのは、2年生の中嶋太陽さん・鈴木海夕さん・遠藤麻歩果さんのアイデア。興讓館高校のSSR(Social Science Research)という探究学習の授業で、子ども食堂について研究している3人だ。高校生らは米沢市の他の子ども食堂にも参加し、子ども食堂の現状や運営の難しさなどを学んだ。そして、スタッフの及川さんとも事前に打ち合わせを行い、この日を迎えた。

10時になると、地域の口コミやセンターを利用している子ども・大人が会場にやってくる。子どもたちは、2階にある遊び部屋に一目散に駆け上がり、ゲームなどをして遊んでいた。この日の献立は、ちらし寿司・ナムル・大根の煮物・フルーツポンチ。40人分で予算1万円とは思えない、美味しくて豪華な食事を高校生たちが作っていた。

食事が一段落すると、豆まきイベントを開催。高校生たちは、鬼(?)の役をして子どもたちを楽しませる。「子ども食堂は、子どもだけでなく、様々な年齢の人が参加できる。色々な人にこういう活動を知ってほしい」と、中嶋さんは自身の研究内容



とともに伝えてくれた。

「地域のつながりが米沢でも薄くなっている」と、から・ころセンターに通っている中学生のお母さん。不登校になった息子さんが地域とのつながりを失ってしまおうと考え、インターネットでこのセンターを見つけた。「このような場所があることはとても大事だなと感じている」と、ここでのつながりについて語る。息子さんがこの場所で色々な人に出会い、友だちができ、元気になっていくとのこと、安心していようだった。ここに来ていた子どもにも話を聞くと、「学校に馴染めなかったのでもみんなが積極的に話しかけてくれるので、楽しい」との答えが返ってきた。ここでは、子どもも大人も安心して、楽しめる場所になっている。

学校に行きづらい子どもの居場所にもなり、地域の子どもも大人も優しく包んでいける地域食堂。第4土曜日この日は、食の支援であるフードパントリーも行われており、食材を取りに来る方々と話をしながら、自然とつながりが生まれていた。及川さんはこれからの取り組みについて、「地域食堂のつながりによって新しい課題に直面し、新しい支援が生まれていく。今後は、子育て支援だけでなく、幅広い女性の支援なども行っていきたい」とのこと。

自然に優しくつながりが生まれ、新しい取り組みが生まれている、から・ころセンター。米沢駅に降り立った時に覚えた、山々に優しく包まれている感覚が、そこにはあった。

【連絡先】 特定非営利活動法人から・ころセンター
山形県米沢市東 2-8-116
TEL : 0238-21-6436
メール : info@npo-kanakoro.jp